

県連ニュース

ミナマタ現調鹿児島報告会

8月に出水郡長島町で行われたミナマタ現地調査の報告会が11月9日、鹿児島市の勤労者交流センターで行われました。主催したのは、ミナマタ現地調査鹿児島実行委員会です。40人が参加しました。

同実行委員会は、現地調査で学んだこと、感じたことをもつと広くの人と共有し水俣病への関心を高めてもらおうと企画しました。

報告会では、水俣病の歴史や現在の訴訟について学習しました。裁判原告の町田榮子さん（78歳）は「商売をしていて、しばらくは繁盛したが、しだいに味覚がなくなり続けられなくなりました。同じ島に住み水俣病の症状を訴えているのに救済されないのは納得いかない」と支援を訴えました。参加者からは「すべての被害者救済をめざすことはすごいこと。あきらめず、に実現させてほしい」と感想を述べました。

県連事務局 原田 敏郎



発行者：木原 望

TEL : 096-387-2826
FAX : 096-381-5442

九州沖縄地協・青年医師交流集会に参加して

2018年11月10日～11日に、第17回九州沖縄地協・青年医師交流集会in福岡が開催されました。全体参加者は57名でそのうち医師は43名。当県連からは専攻医の東雲医師（15卒）と、研修医の田嶋医師（18卒）が参加。初日は「慢性期医療と急性期医療の橋渡し」をテーマにしたシンポジウムと「認知症について」の学習講演、2日目は医師が卒年別に分かれて仕事のやりがいや悩みを出し合うグループディスカッションが行われました。

熊本から参加した両医師は「認知症の早期発見のポイントなど明日から使える知識をご教示していただき、大変勉強になりました。また同世代の医師と交流を深め、リフレッシュもできてとても有意義でした。」と感想を話されていました。

帰りのバスの中では、熊本県民医連の医師の後継者をどのように確保・育成するのかについて、東雲先生と作戦会議を練りながら帰ってきましたので、これから実践に移していこうと思います。 くわみず病院 研修担当：安達 止揚吾

